

◆◆◆◆◆
平良 幸夫 議員



ります。

質 商工会と村おこし協議会は、観光協会が設立された場合、関係はどうなるのか。

答 村長 長浜善巳

村おこし協議会の観光部会は、村長の諮問機関だと思えます。観光協会は実働部隊にしているというふうを考えております。

質 一括交付金を活用して観光協会の運営に当たったかどうか、検討されていますか。

答 村長 長浜善巳

一括交付金も含めて、今後の運営経費を検討してまいります。

◆◆◆◆◆
子ども・子育て支援
について

質 今回の制度改正によって保育所に関してはどう変わりますか。

答 福祉健康課長 新里勝弘

公立の保育所においては、現在のところ改正による保育の中心が変わるといようなことはございません。認定こども園の新たな設置や幼稚園、保育所か

らの移行を国は考えておりますが、公立保育所、幼稚園のみの本村においては、制度の活用は難しいと考えております。

質 保護者への負担が増えているか。

答 福祉健康課長 新里勝弘

短時間保育、標準時間保育とすることがありますが、延長保育が可能であり、標準の保育料の範囲で保育できますので、影響はないと考えております。

質 保育料の値上がりは無いということでしょうか。

答 福祉健康課長 新里勝弘

現在の保育料は、国の示す基準よりだいぶ恩納村の場合は、低く抑えられている状況であります。

大幅な現状と差は出てこないと考えております。

質 今回の制度改正の目的の一つに待機児童の解消が掲げられていますが、本村においてはどのような方策を講じたのか。

答 福祉健康課長 新里勝弘

現在の待機児童は36名、新制度においては、30名程度にな

ると思われます。本村において

も、0歳児から3歳未満の待機児童が多く見られます。平成26年度においては、家庭的な保育事業の事業化が決定しましたが、施設確保が難航しており、次年度に繰り越す結果となっております。

新年度予算においても、事業所内保育総合促進事業を計上しており、今後も継続的な情報提供を行っていききたいと思います。

また、認可外保育所の認可に向けた認可移行支援事業も平成27年度に2か所の認可外保育所が計画をしております。

質 幼稚園の預かり保育について、4月に向けてどのように進めていくのか。

答 学校教育課長 石川司

午後の預かり保育は、平成27年度から開設予定の仲泊幼稚園を含めて村内4園で開始いたします。

保育時間も4月から延長し、一年を通して午後6時までの実施を予定しております。

◆◆◆◆◆
山田 政幸 議員



◆◆◆◆◆
認知症の介護支援
について

質 団塊世代の方が全て75歳以上になる2025年には認知症の高齢者が現状の7人に1人か

ら5人に1人になると予想されています。県内においては65歳以上の高齢者の内、約13・6%にあたる約3万6千人が何らかの認知症があると推測されています。そこで本村の高齢者認知症の状況はどのようになっていますか伺います。

答 福祉健康課長 新里勝弘

平成26年12月末時点で要支援・要介護認定者が508名、その内327名がIIa以上の認知症高齢者と認定されております。

質 村の対応として支援体制はどのように実施されていますか。

答 福祉健康課長 新里勝弘

民生委員やケアマネ、家族等から相談があった際各種介護サービスや医療機関への繋ぎを行っており認知症に対する知識を普及させる目的で認知症サポーター講座を開催しております。

質 認知症地域支援推進員を配置するという制度がありますが本村における支援体制として検討されたことはありますか。

答 福祉健康課長 新里勝弘

国の示す新オレンジプランで

◆◆◆◆◆
安富祖集落の進入
道路について

質 安富祖集落入口より明地橋までの道路は現在農道として位置付けられており土地改良総合整備事業の一環として受益者から共同減歩拡張した道路で安富祖集落主要入口としての役割を担っており、この道路を村道に移管できないか伺います。

答 建設課長 比嘉正彦

本農道は平成8年の土地改良総合整備事業で共同減歩により道路の拡幅がされ今後、村道移

管については関係課と協議・検討させていただきます。

質 明地橋までの農地側、安全策について伺います。

答 建設課長 比嘉正彦

路面の方はデコボコになって、車通るにはスムーズいけないと思いますので村道になった暁に整備させていただきたいと思っています。

◆◆◆◆◆
指定ゴミ袋の件
について

質 指定ゴミ袋の取って付き（レジ袋形）の改善について検討されたと思いますが、その後の進捗状況について伺います。

答 村民課長 當山秀幸

9月の定例議会の後クリーン指導会議を持ち、金武町、宜野座村の老人会からレジ袋が好評との話しをしたら、老人会の意見に一任すると回答があり村内の老人会会長会議で全会一致賛成して27年度予算に費用計上し大袋30万袋の内、10万袋を試験的実施して参ります。